

製品名: Fgl2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10953**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	FGL2
別名	FGL2; Fibroleukin; Fibrinogen-like protein 2; pT49
遺伝子 ID	10875.0
SwissProt ID	Q14314
免疫原	抗血清はヒト Fgl2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 38-87

背景

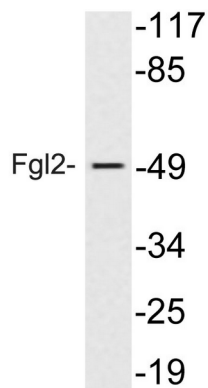
フィブリノゲン様タンパク質 2 (FGL2) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、フィブリノゲンのβ鎖およびγ鎖に類似した分泌タンパク質である。コードされるタンパク質のカルボキシル末端は、フィブリノゲン関連ドメイン (FRED) か

ら構成される。コードされるタンパク質は、鎖間ジスルフィド結合によって安定化された四量体複合体を形成する。このタンパク質は、粘膜部位における生理的機能に関与している可能性がある。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 粘膜部位におけるリンパ球の生理的機能に関与している可能性がある。、類似性: フィブリノゲン C 末端ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: ホモ四量体; ジスルフィド結合。、組織特異性: 細胞傷害性 T 細胞において恒常的に発現する。、

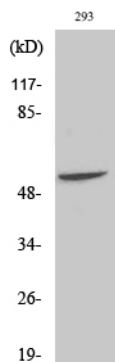
研究分野

-

画像データ



Fgl2 抗体を使用した、インスリン処理した 293 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析



Fgl2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析